

# 日本英語文化学会

2010年9月4日 駒澤大学

シンポジウム全体テーマ「大学における一般教養科目としての『英語』を考える」

佐々木隆 (武蔵野学院大学)

「教材としての英米文学の行方」

# 発表の内容

- 1 日本の英語教育略史
- 2 英語教育大論争 平泉渉・渡辺  
昇一論争
- 3 日本の英語教育行政
- 4 教材としての英米文学
- 5 教養とは何か
- 6 教育の目的は何か

# 1 日本の英語教育略史

1600年 リーフデ号日本に漂着(ウィリアム・アダムズ来日)

(日英交渉のはじまり)

1639年 鎖国完成

(日本にとっての外国はオランダと清)

1808年 フェートン号事件

(この事件を契機に幕府がイギリスを強く意識、英語の必要性を感じる)

1809年 幕府、蘭学通詞に英語学習を命じる

1814年 本木正栄編『諳厄亜  
語林大成』(日本で最初の英  
和辞典)

1840年 澁川六蔵訳『英文鑑』  
(日本で最初の英文書)

1853年 ペリー来航

1858年 幕府、長崎に英語伝  
習所を開設

1859年 福澤諭吉のいわゆる  
英学発心

1860年 蕃書調所、英学を正科と  
する

1871年 文部省設置

## 1872年 学制

日本語廃止論、英語国語化論、羅馬字論等が1885年くらいまで活発に発表される。一方で、1889年以降になると、反英語論も発表され始める。

1879年 教育令(学制廃止)

1886年 学校令

1889年 大日本帝国憲法発布

『正則文部省英語讀  
本』

1890年 教育勅語

1899年 内村鑑三『外国語之研  
究』 変則英語を批判

1916年 大岡育造「教育の独立」

英語廃止論を唱える

1927年 藤村作「英語科廃止の急務」

中学校での過重なる外国語の負担から解放が目的

1946年 志賀直哉「国語問題」

漢字撤廃論

1947年 教育基本法、学校教育  
法

1947年 尾崎行雄「漢字亡国  
論」

英語教育の必要性

## 2 英語教育大論争 平泉渉・渡部昇一論争

1974年 「外国語教育の現状と改革の方向」(4月18日)

自由民主党政務調査会国際文化交流特別委員会副委員長・参議院議員 平泉渉

1975年

渡部昇一「亡国の『英語改革試案』」(『諸君!』4月号)

平泉渉「渡部昇一教授に反論する」(『諸君!』5月号)

# 平泉の主張

## 「外国語教育の目的」

わが国の国際的地位、国情にかんがみ、わが国民の約5%が、外国語、主として英語の実際的能力をもつことがのぞましい。

## 渡部の主張

古来日本人が話すという外国語習得とは別の外国語習得の仕方あるということを知っていた。

「原典を正確に読む」ことが語学の目的であると主張したのである。そして、「高校までの潜在能力としての英語教育」を重視した。

### 3 日本の英語教育行政

2000年 小渕恵三首相私的懇  
談会「21世紀日本の構想」

- ・「英語第二公用語化」
- ・「小学校への英語教育導入」

2001年 英語指導方法等の改善の推進に関する懇談会

2002年 英語教育改革に関する懇談会」

「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」

2003年 「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」

2006年 教育基本法改正

2008年 教育再生会議『社会総  
がかりで教育再生を 最終報告』

2009年 免許状更新講習規則  
施行

## 4 教材としての英米文学

「国語教育では日本文学を用いない教科書はない」

「文学を用いない言語教育などあり得ない」(斎藤兆史 2004)

## 文学教材の5つの利点(中村愛人 2004)

- 1) 様々なstyleのauthenticな言語材料を提供出来る。
- 2) 言語能力(literary competence)を発達させる。
- 3) 個人の成長や人間性を豊かにする。
- 4) 文化学習に効果的である。
- 5) 作品への興味から学習の動機づけになる。

# どんな方法があり得るのか

- 1 例文等による提示
- 2 身近な作品を取り上げる
- 3 映像の活用
- 4 ICTの活用、i-padの活用

1は辞書と同じように用法などを紹介する。名句、名言など。

2は実際に作品を読む

例文等を利用する

ハンドアウトをご覧ください。

## 半期(15回)、通年(30回)

大学の授業は通常90分で通年の場合には最大で30回行うこととなります。その中で実際にどの程度まで英米文学を取り扱うことができるのか。特に、文学部英米文学学科といったような文学系の学部・学科でない場合にはどうか。90分の時間の使い方はどうなるのか。

## 三輪定宣「教師の多忙化」(2001)

教師の多忙化は教育活動をゆがめ、その教育効果を低下させる。教師が多忙であれば、子どもとの触れ合いは少なくなり、授業の準備や教材研究も不十分となり、ゆきとどいた生活指導・学習指導が困難になる。

大学でも同様では(発表者コメント)

## 5 教養とは何か

グローバル・リテラシー (国際対話能力) この能力の基本は、コンピュータやインターネットといった情報技術を使いこなせることと、国際共通語としての英語を使いこなせることである。  
(「21世紀日本の構想」懇談会  
2000)

新たに構築される教養教育は、学生に、グローバル化や科学技術の進展など社会の激しい変化に対応し得る統合された知の基盤を与えるものでなければならない。(中略)人間としての在り方や生き方に関する深い洞察、現実を正しく理解する力の涵養など、新しい時代に求められる教養教育の制度設計に全力で取り組む必要がある。(中央教育審議会 2002)

# 6 教育の目的とは何か

## 教育基本法

### (教育の目的)

**第一条** 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない

# 教育基本法と教養

## (教育の目標)

**第二条** 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

(大学)

**第七条** 大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

語学(実用英語)は外国語コミュニケーション・スキルを高めるには有効な方法

英米文学は外国語コミュニケーションに深みを与え、豊かな人間性を育てるもの

両者のバランスが重要

- ・大学は専門学校ではない。英語教育であって、訓練ではない。

- ・大学の専門学校化、キャリア教育重視の名前を借りた社会人予備校化

- ・大学の役割は時代により変化したのか？